

平成21年度（第1回）鳥取市国民健康保険運営協議会議事概要

1. 日 時 平成21年11月26日（木） 午後3時
2. 会 場 市役所駅南庁舎 地階第6会議室
3. 出席者
 - 委 員 金子会長、林会長代行、若林委員、田中委員、森委員、山崎委員、山下委員、山内委員、本多委員、森委員、松浦委員、中村委員、中尾委員、平山委員、笹川委員
 - 鳥取市 事務局 森本部長、中島課長、山崎参事、小嶋課長補佐、西村主査兼収納係長、河井主査兼給付係長、蔵増主任橋本総合健診室長

4. 議事概要

発言者	発言内容(要旨)
事務局 局長	<p>(開会) (あいさつ)</p>
事務局	<p>本日の鳥取市国民健康保険運営協議会は、任期満了に伴う委員改選後の初めての会議ですので、委員の皆様をご紹介します。</p>
	<p>(名簿により、委員を紹介)</p>
	<p>続いて、会議に先立ちまして、関係法令等の説明をさせていただきます。(説明)</p>
	<p>本日の会議は、委員17名のうち15名が出席ですので、会議は成立することを報告します。</p>
	<p>また、本協議会の議事録をホームページで公開することをご承知下さい。</p>
	<p>次に、会長及び会長代行の選任ですが、選任にあたり臨時議長を選任したいと思います。金子委員にお願いしたいと思いますよろしいでしょうか。</p>
	<p>(全委員了承)</p>
委 員	<p>会長及び会長代行については、国民健康保険法施行令第5条に基づき、公益委員の中から選任することとなりますので、公益委員の皆様は外に移動をお願いします。</p>
	<p>(公益委員で協議)</p>
	<p>公益委員で協議した結果、引き続き会長に私 金子、会長代行に林委員が推薦されたことを報告します。</p>
	<p>(全委員了承)</p>
	<p>これをもって臨時議長の役目を終わります。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは、金子会長にあいさつをお願いしたいと思います。</p>
	<p>(あいさつ)</p>
事務局	<p>これ以降の日程につきましては、会長に議事の進行をお願いします。</p>
会 長	<p>これより議事に入りますが、はじめに議事録署名委員ですが、若林委員と森英俊委員にお願いしたいと思いますよろしいでしょうか。</p>

発言者	発言内容(要旨)
会長	<p>それでは議事に入ります。</p>
事務局	<p>「平成20年度鳥取市国民健康保険費特別会計歳入・歳出決算について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局長	<p>(資料1：平成20年度歳入歳出決算一覧表等に基づき説明) ただいまの説明について、質問や意見があればお願いします。</p>
委員	<p>特定健康診査の目標を達成するために、市として何かやっているのですか。</p>
事務局	<p>平成20年度は目標値を下回った結果となっております。特に40歳代、50歳代の受診率が低いという結果になっておりますので、この年齢階層の方に受診勧奨の案内をさせていただき予定で、現在総合健診室の方で準備を進めているところです。特定健康診査は7月上旬に対象者に受診券をお送りし、7月から翌年2月まで実施していますが、ちょうど4カ月余り経過したところですので、まだ受診されていない方に受診のお知らせをするものです。</p>
委員	<p>健診を受けていらっしゃる方には、お医者さんにかかっている方もあると思いますが、そういう方は把握しておられるのですか。</p>
事務局	<p>今度受診勧奨をする時にアンケートを実施することとしておりますので、お医者さんにかかっておられるかどうかはその中で把握したいと考えております。</p>
委員	<p>資料の3～4ページの決算一覧表の中で、1332万6千円の余剰金が出ていますが、実質的には黒字であるのかどうなんでしょうか。</p>
事務局	<p>3ページの基金繰入金について、当初は1億4924万円を予算計上していましたが、最終的には4700万円で済んでいます。しかし、基金を取崩していますので、実際には単年度収支では赤字となっております。</p>
委員	<p>資料の9ページの財政調整交付金の内訳についてですが、平成19年度は結核・精神病等に係る特別調整交付金を受けられていますが、平成20年度がかなり下回った額となっているのはなぜですか。</p>
事務局	<p>結核・精神病等に係る特別調整交付金は、これに係る医療費が15%を超えている場合に交付されるものですが、平成20年度は医療保険制度の変更、後期高齢者医療制度が創設されたことにより、計算式が変更となったことで、平成19年度よりも下回った額しかもらえなかったものです。</p>
会長	<p>次に、「平成21年度鳥取市国民健康保険事業の状況について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料2：平成21年度鳥取市国民健康保健事業の状況に基づき説明)</p>
委員長	<p>ただいまの説明について、質問や意見があればお願いします。</p>
事務局	<p>平成20年度決算は赤字となっており、平成21年度は好転する見込みはないような感じがしますが、保険料収入の見通しはどうでしょうか。今年度の収納率ですが、最初のうちは昨年度を上回っていましたが、10月末時点では下回っています。現在の社会情勢の中で、リストラされた方など、現在、現金収入がない方が多く加入されており、収納対策には努力しているところですが、厳しい状況にあります。さらに、新型インフルエンザが流行することになれば、医療費が増加することになりますので、さらに厳しい状況になると思われま</p>

発言者	発言内容(要旨)
委員	<p>資金繰りについてですが、基金は残りわずかで平成22年度予算ではこの基金をすべて入れなければならないことになると思いますが、あとはどうなるのでしょうか。保険料に反映することになるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>平成21年度はまだ途中ですが、医療費が伸びてくれば厳しい状況になると考えております。今後の状況をみて対応していきたいと思っております。</p>
委員	<p>医療費が伸びてくるのは、新型インフルエンザの影響もあるとは思いますが目に見えていますので、今後の状況をみてと言われましたが、今から対策を立てておく必要があると思っております。</p>
事務局	<p>歳出の事業費の中で、削れるものは削るべきだと思いますが。医療費、保険給付費、後期高齢者支援金などは支払いが来たら支払わなければならないものです。</p>
委員	<p>保健事業費とか特定健診事業費はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>特定健診等は、国が定めた目標に取り組んでいかなければならないもので、主に健診を実施した医療機関に支払う経費です。受診率が下がれば経費も少なくて済みますが、平成24年度に目標値を達成できなければ後期高齢者支援金が増額されるというペナルティを受けることとなります。そうなれば保険料にも影響してくるということになります。ペナルティを受けないためにも、受診率を上げていかなければならないと考えています。</p>
委員	<p>後期高齢者医療制度が廃止されれば、前期高齢者とかという言い方もなくなると思いますが、そうなればこの会計にどのように影響してくるのか、見込みとかについて、部長さんはどう思っておられますか。</p>
部長	<p>国は医療保険制度を一本化したいという思いは強いようですが、具体的な姿は全く見えていません。従来どおりの元(老人保健制度)に戻すことはしない、後期高齢者医療制度を廃止し全体的に考えると言っていますが、その姿がどうなるか見えていませんので、市町村としても手の打ちようがありません。</p>
委員	<p>財源の問題については国が主導していますので、市町村の判断でできることはない、国保会計はそういう仕組みになっています。特定健康診査、特定保健指導にしてもそうです。国保会計については、全国の市町村の71%が赤字だという状況がある訳ですが、所得のない方がだんだん増えてくる。国も厳しい財政状況にあり、国の補助も少なくなっている。こうした状況にあります。</p>
委員	<p>国は安心・安全な生活と言っておられる訳ですが、国の財政問題のこともあり、議論する前のことが決まっていない状況にあり、どうにもならないということですね。</p>
部長	<p>医療保険制度の一本化とか、県単位で運営するなどという案はありますが、医療保険制度を将来どうするのか、全く示されていない状況にありますので、市町村も困っている状況にあります。</p>
会長	<p>他に何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>ないようですので議事は終了します。</p>
事務局	<p>その他、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>(今後の協議会の日程等について説明)</p>
事務	<p>それでは、これで本日の協議会を終了します。</p>